



子どもの学びと育ちをつなぐために、小学校等での日々の教育活動では、どんなことが大切なのでしょう。



【参考】

第4次鳥取県幼児教育振興プログラム
「遊べる子ども」（令和7年度改訂）
P.53～64



学びと育ちをつなぐ環境構成と指導計画の考え方

人的環境（保育者や教師の関わり）

- ①信頼できる関係性
- ②受容的なかわり
- ③子どもの資質・能力への信頼
- ④共に面白がり活動を発展させる工夫

物的環境（もの、空間、時間）

- ①安心できる環境
- ②共同注意の向けやすさ
- ③視線の合いやすさ
- ④人との関わりやすさ（近接性）
- ⑤表現のしやすさ（身体性）
- ⑥表現のしやすさ（発言の仕方）

指導計画の考え方

- ①個の興味・関心を活かした総合的な活動展開
合科的・関連的な指導
- ②活動展開に合わせた柔軟な時間設定
弾力的な時間割など
- ③個の遊びや学びが共有され広がる環境設定や活動
- ④全体での遊びや学びが個の遊びや学びに発展する活動展開

一人一人の「やってみたい」
をつなぎましょう。



実践のポイント



教科の学びに遊びを入れるということではなく、遊びのように夢中になって学びこめる仕掛けを工夫しましょう。

令和7年度 第3回西部地区幼稚園教諭・保育教諭・保育士等の合同研修会

子どもの『やってみたい!』をつなぐ架け橋プログラム 國學院大學 教授 吉永 安里 氏 資料より一部抜粋

令和8年度第1回幼保小接続推進研修会 (オンライン研修)

日時: 令和8年7月28日(火)

午後1時15分から午後4時まで

内容: 講義・演習

「つなげよう! 架け橋期の教育

～教育方法の充実・改善をめざして～」

國學院大學 教授 吉永 安里 氏



この研修を校区の園・小学校・義務教育学校等の合同研修会として同じ場で一緒に受講し、今後の取組について話し合うと、より効果的です。ぜひ、参加をご検討ください!!
開催要項等は、6月24日付けで小中学校課より通知しております。締め切りが間近となっております。各市町村教育委員会の学校教育担当課及び保育担当課より提示されている締め切り日を御確認の上、お申し込みください。



保育所と小学校が子どもの姿を共有し、連続性をもった支援をできるようになることが、子どもにとって何より大切なのだと再確認しました。保育士として、これまでの遊びや生活の積み重ねをしっかりと学校へ伝えていく責任を感じるとともに、子どもたちが安心して学びに向かえるよう、今後も丁寧な関わりを続けていきたいと思いました。(保育士)

活動内容や環境が大きく変化するからこそ、一人一人の力や育ちを発揮できるような工夫が必要だと感じました。職員同士の繋がりは欠かせないし、園と学校においても、互いの現場の雰囲気や環境を直接見て感じる機会ももたなければならぬと強く感じました。(小学校教諭)

